三鑛

発行所
三池炭鑛勞働組合
大牟田市不知火町
電話3033番
炭電 528 475 番

編集人 発行人　平馬敏治
三鑛勞組　印刷工場

三鑛勞組
機関紙

# 賃金團交に全く不誠意

## 経營者の野望を實力で粉碎

## 中闘、スト指令を発す

十二月九日午後一時より、石炭連盟で第三回の賃金團交をもつた。この團交では連盟より炭勞の要求書に対する質問と反論がなされ、炭勞はこれに應酬するとともに連盟に一月以降賃金に対する態度を出させるべく迫つたが連盟は組合の要求を一方的に無視し、しかも前協定の適用延長を提案し、賃金要求に対する誠意は全くなく十日ついにスト突入指令を發した。

### 賃上せぬと豪語

九日の団交で連盟が組合要求書に対する反論を次の通り述べている

◇超過勞働の廃止について

しないことが望ましいと考えられるが炭鉱の実態からしてある程度はさけられない、また大手の平均は現在一〇パーセント程度で、これくらいは勞働强化とはいえない。

◇請負給の廃止について

個人能力を尺度として支払う賃金形態でなければならぬ。この意味で合理的な支払形態であると考えている。

◇要求額について

炭界の不況によつて、従来の賃金の維持すら困難なときに、炭勞の要求をベース賃金引直しでみると坑内七〇%、坑外八〇%の引上げ、金額にすると一万円と全く不誠意極りない反論をのべもの引上げになる。このようなこと

賃金は、炭鉱の実情にそぐわないので、経營者としては受け入れられない。

賃金交渉に経營者のとつた態度は断切時しり外になく、中央闘爭委交渉權の問題をはじめ、賃金交渉員会は年内解決を目途とし重大過程にとつた態度は引延し策と分な決意を固め、彼等経營者の野望を完全に粉砕するためスト突入指令と次の通り発した。

一、闘爭指令　賃金要求の獲得(交渉權確立を含む)

一、闘爭規模　十二月廿一日一番方より四十八時間第一波スト、十二月廿四日一番方より四十八時間第二波スト、十二月廿八日一番方より四八時間第三波スト

一、爭闘戦術　最少限度の人員による原炭、完全撤出拒否を行え

一、闘爭指令職種　闘爭突入職種は運搬系統に属するもの

一、賃金保證　賃金保證については各支部ごとに対策を立て保證せよ

以上

## 闘いの垢を落して

(三川鑛浴場にて企闘終結直後)

## ストを中止を指令

### 中闘　賃與金六千七百圓を諒解

期末手当に関する十五日の第六回団交で会社は賃与金八、〇〇〇円の線を固執して譲らないので中闘は遂に最後のハラをくゝり「十七日一番方から別途指令あるまで指令第二号の指示戦術(保安、遵法、指名スト)により坑口出炭を零とする徹底的闘爭に突入せよ」と中闘指令第三号を発したが、スト寸前の十七日午前五時東京電話でスト中止方左の如く指令第四号を発した

### 中闘指令第四號

全国三井炭鉱労働組合連合会
中央闘爭委員長　畠山鐵之助
三池炭鉱労働組合闘爭委員長殿

**スト中止に關する件**

本日の交渉に於て我々は期末手当について、六、七〇〇円の賃与金を諒解した。現状下において諸困難を伴うものであるが中闘委員会の決定に基き左記の通り指令する。

記

一、十二月十七日一番方以降のストライキを直ちに中止せよ。

以上

△…大手筋…▽

| | |
|---|---|
| 吉河 | 八千四百円(交渉) |
| 太平洋 | 八千百円(〃) |
| 三菱 | 八千百円と別ワクで二百万円(交渉中) |
| 北炭 | 八千百円(〃) |
| 住友 | 八千百円(〃) |
| 明治 | 八千百円(〃) |
| 雄別 | 八千百円(〃) |

△…九共闘…▽

| | |
|---|---|
| 日炭高松 | 一万円(交渉) |
| 貝島 | 六千八百円(交渉中) |
| 二瀬 | 七千円(〃) |
| 鴻穂 | 六千五百円(〃) |
| 大正 | 五千円(〃) |
| 杵島 | 六千五百円(〃) |
| 大鶴 | 六千三百円(〃) |
| 北方 | 七千円(〃) |
| 宇部 | 七千円(〃) |

## 期末手當　各社の狀況

十六日午後四時現在各社の期末手当闘爭狀況左の通り

## 前進

# 53年を送るに當つて

## 闘いの中から學びとる教訓

一

文字通り闘爭に明け暮れた一年間の終末に當り、幾たびか變貌した闘いの様相をふり返つてみて、勞働運動とは闘いの中から教訓を学び取るものだと言う事を今さらのように反省させられるのである

一九五三年は問題の多い年であつた。朝鮮休戦、スト規正法、MSA受入れ保安隊増强等々、國家的規模に於ける重要問題を始め、直接吾々が闘つて來たものゝ中にも、衆參両院選擧、炭婦協結成、福利問題及び企業合理化反對闘爭を擧げることが出來る。

二

此の中には三鉱労組結成以來の事件として、四件の法廷闘爭を含み大衆自らが闘いの先頭に立つたことは過去に其の例を見ない階級闘爭の實体に觸れたものと言うべきであろう。

而してこの自らの体験が百万遍の説教にもまして階級の何たるかを物語り、主従関係、親子關係、或は會社あつての労働者だと言つたヴェールをはぎ取つて「労働力の賣買」以外の何ものでもないと言う近代的労使関係の在り方を自覺させたのである。

三

斯る闘爭の経験を今後に生かす上に於て、懸念されることは大衆が今後の闘いを如何に自分のものとして消化するかと言うこと、如何にして組織を擴大强化するかの方法である。言うまでも無い事ながら勞働運動は多數人の統制ある活動が生命である。極言すれば頭數の問題でもある。一人でも多く闘爭に參加することが必要であり、その多數人が同じ目的の下に結束することである。

これを例えれば雪ダルマ式組織と言えよう。仲間の間をころげ廻る事によつて自然と太つて行き、而も太くなるに從い固さを増して行く。これが組織の自然な在り方であるならば、同じ勞働者、同じ勞働者の家族は當然同じ組織の中に抱き込んで行かねばならない。

余りにも潔癖に、余りにも自分の考え通りを押し付け様とすれば同じ勞働者の中に敵を作ることにもなろう。要は味方になり得る筈の人を無理に敵陣營に走らせる様な事は考えるものであると同時に、組織擴大を急ぐの余り破壞分子までも盲目的に抱え込むことも不見識な行き方と言わねばならない。

四

過去一年の闘い方が大衆の中に根を下し初めた貴重な体験であつたと共に、此の体験を通して明年の闘爭はより多數によつて、全組合員、全家族、全企業別、全産業別、そして全勞働者の運動へと發展せんことを希望してやまない。

## 1953年度 國内10大ニュース

**池・國會談とMSA受入れ**　吉田首相の個人的走り使いと称する池田勇人特使はアメリカに出かけ、国務次官補ロバートソンと会談、十月三十日には、ついに防衛軍强化を約束し、MSA軍事援助を受入れる共同声明を発表した

**保全經濟會の解散**　十月二十四日ヤミ金融の保全經濟会(会長伊藤斗福は)解散を宣言した。ヤミ金融にたよるほかなくなつた中小企業の倒産と金融恐慌のはしりとしてのヤミ金融の破滅。

**明仁皇太子の外遊**　明仁皇太子は、英エリザベス女王の戴冠式に参列するため三月三十日横浜を出帆、欧米各地をも旅行して十月十二日帰国した。商業新聞は見事な御成人ぶりと書きたてたが、政府はこれで日本の二代目々象徴々にみがきをかけた次第

**内灘基地反對と基地勞働者のゼネスト**　日本全土にはりめぐらされた米軍基地は七百五十、ついに五月には石川県内灘の農漁民が試射場に反対してたち、つづいて妙義、浅間にもおよびさらに世界をおどろかせた八月の基地勞働者のゼネスト、アジアの兵器廠日鋼赤羽のストなど、基地反対運動は全国にひろがつた。

**李承晩ラインと日韓會談決裂**　済州島漁場にひしめく日本のアジ、サバ漁船。九月七日、韓国は朝鮮水域への立入りを禁止し、日韓の国交調整についての会談は十月には再び決裂した。商業新聞は「朝鮮人になめられる」流の宣伝で再軍備コースをあふつている。

**ヤミ米あがる・庶民には高嶺の花**　ジリ高つゞく物価のうち一ばんこたえる米のヤミ値が三段跳びにハネ上つた。五、六月にかけて二百円前後、九月には二百四十円、十一月には二百七十円とうなぎのぼり、ミズホの国でコツペパンを喰いながら飢餓という事態にたち至つた。

**あいつぐ水害と災作**　六月二十七日、西日本をおそつた大水害につゞいて、八月二十五日紀伊半島はじめ関西中部地方をあらしまわつた颱風十三号、さらに東北の冷害による大凶作など、水害もみんな政治の貧困が原因だというのが定説。

**中朝・ソ連からの邦人歸國と國民外交**　三月二十三日、中国帰国第一船入港につづいてぞくぞく在留同胞がかえつてきたが、大山郁夫氏の訪ソ、モロトフ外相との懇談によつて在ソ戦犯邦人も帰国のはこびとなつた。(十二月一日)　さらに自改、社をふくむ貿易代表団が日中貿易協定を調印するなど国民外交は着々とすゝめられた。

**松川事件第二審判決**　いまから四年前のナゾの列車転覆事件、国鉄、東芝勞組員二十名に第一審判決では、死刑五名をふくむ判決が下され十二月二十二日には第二審判決。全国の勞働者をはじめ、志賀直哉、宇野浩二氏らひろく文化人も公正裁判を要求した。

**バカヤロウ解散と総選擧**　国会答弁でしバカヤロウ」といつた吉田首相の言葉をとらえた前代未聞の首相懲罰動議が二日可決され、吉田内閣の弱体ぶりはこうして内外にさらされたが、政府は国会を解散して総選擧が実施されることになつた。

## 40日働いてタツタ千圓

# 餓迫る岩屋の同志

## 職闘爭に支援の手を

去る六月廿二日水没により保安要員を除き大量九九名の組合員名簿の二八〇名を除き大量九九名の首切りに端を発した佐賀県岩屋炭鉱の争闘は、その後地労委の斡旋により「年内に坑内復旧を行い逐次金員を再採用する、人選については会社が誠意をもつてこれに当る」と云う条件で一応終結、その後第一回三〇名、第二回三五一名が採用されたものゝ第三回の分については会社は四二二名採用を約して居たので六一名のひらきがあり、会社側にその点を質しても本店命令とのみで要領を得ずしかもその人選に当つては青年行動隊、闘爭委員、炭婦協会員の夫等組合運動に関係があつたものはすべて除外、組合側が団交を申入れてもこれを拒否するなど不当労働行為を敢てする徹底で、更に十月以降賃金の賊配で四〇日働いて僅か千円しか支払われぬと云う奴隷状なので、組合側は金員採用、賃金一〇〇%支払いを要求して再び闘爭を捲き起して居る。然し六〇%の失業保険で食いつなぎそれも正月早々期間が切れるので生活は極度に困窮し、この分で行けば正月のお餅どころか一家心中もはかり知れないと云う悲惨な状態にあるので、全員採用まで頑張ると云う事で一応了解点に達したが、調印の段階になつてまたまた親子論々を持ち出し調印拒否の態度に出て来たので憤慨した組合側は会後一時厳重通告を行い、夕刻から調印の為の折衝に入つたものゝ賃上げ、期末手当闘爭中の執行委員会側は逃げを張り続け、おまけに組合員九一名)は先月初旬に夜十時半に至り裏切り分子を挙げ先にハイヤーで組合員の家を廻り切崩しにかゝつた。以上によつて明かなように悪辣な会社側は大地評をしめ出して自己の意図する不明確な協定書に調印させ、爭闘終了後に組合の骨抜きを行うと共に逆員の仕組は戦爭屋の方が戦爭宣伝のために教えてくれる(3)さわぐ方に弱みがある。(3)近代科学の正しい使い手はスパイを心要としないこと、以上の三点を答としたい。

(筆者は東京工大講師)

## 調印段階で決裂

### 執行勞組の闘い續く

北岡教宣部長談

どんな生活が困つて居るか岩屋の人達の服装を見ただけで嘆くピ達にも同じよろこびを味つて頂くため暖々援助の手を差し延べなければならないと思う。

北岡教宣部長は左の如く語つた。

「新聞配りは?」「うん、後一年で卒業出来つとに、辞めつとはおしかちやないね、僕が新聞配りして、兄ちやんの学費は様こうち思うて、もう中野君に頼んどいた」

利吉さんは、今更ながら盲切りというものが如何に子供達の心を傷つけ、また社会に罪悪を誘発するかを考え、この子供達の為にも堪切つてはならない。闘い抜かねばならないと心に決すると、勇気が湧いた。

「もう二人とも寝んか、その事は父ちやんもよく考えて見るから」二人を一応納得させて寝かしたのだが。

× ×

考えることを强いられながら、利吉さんは、もう完全に考える能力を奪つていた。両側の若い鉱員に守られながら、目を閉ち押しに退職して安住の地を求めたらと思う時も度々であつた。

## 調印段階で決裂

### 執行勞組の闘い續く

いつた激しさで吐き出される歌、「握手でも動かぬぞ」と坐り込んだ炭婦協の面々のとげ々しい貌。

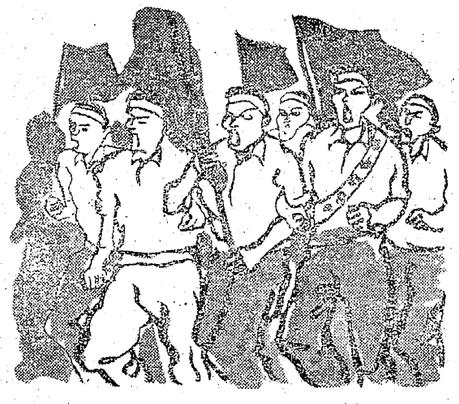
「新聞配りは?」「うん、後一年で卒業出来つとに、辞めつとはおしかちやないね、僕が新聞配りして、兄ちやんの学費は様こうち思うて、もう中野君に頼んどいた」

利吉さんは、今更ながら盲切りというものが如何に子供達の心を傷つけ、また社会に罪悪を誘発するかを考え、この子供達の為にも堪切つてはならない。闘い抜かねばならないと心に決すると、勇気が湧いた。

「もう二人とも寝んか、その事は父ちやんもよく考えて見るから」二人を一応納得させて寝かしたのだが。

× ×

考えることを强いられながら、利吉さんは、もう完全に考える能力を奪つていた。両側の若い鉱員に守られながら、目を閉ち押しに退職して安住の地を求めたらと思う時も度々であつた。



## 水素爆彈の話

田中實

組合千一夜(第七十一話)

# 勝利の陰に

平島敏治作
久慈悠一画

この劇作は人物も物語も架空なものであるが、三鉱勞組百日闘爭の勝利のかげに、皆さんはこれによく似たいくつかの話を自分の身近かに知つていられると思う。

× ×

利吉さんは、ぐん〳〵腹に突つけられてくる警棒を、うんと下腹に力を入れて押し返し、スクラムから落伍しないように、必死に抵抗しながら、次第に身体が疲勞し頭がぼうつとなつてくるのを感じていた。はじめ、爆突合わした警官の面が、憎くらしくて憎みつゝ、日たい程であつたが、そのうち次第に薄れ、やがては、その顔が晩落して母性愛のようにも思えてくるのは嫌だなあ、また隣はそんなのまでして、学校へ行きたいとは思わないんだよ」

こんなに二つの問題で真剣に親子が話したことは、はじめてであり、この会話を通じて我が子の成長に今更利吉さんは驚いた。二人の話を聞いていた次男の浩二が突然「父ちやん」と呼んで「あのな、怒つたいかんぱい、ほんとはなあ、新聞配りばやろうと思うてる

その心の動揺を来たしていた折、長男の浩吉が高校を退学して、家の手助けに働きに出る、と云い出したのである。父親の利吉さんとしてみれば、自分が高等小学校だけでつらい坑内勞働をつゞけているが、子供だけはせめて高等教育だけでも、と子供成長を楽しみに日々と坑内勞働を続けて来たのである。

「お前、後一年で卒業ちやないか、学校辞めさせる位なら、父ちやんが会社やめる」「父ちやん、それはいけないと思うよ、七十數日間、みんなと一緒に闘つて来て僕のためとの闘爭から父ちやんが晩落して母性愛のように云われるのは嫌だなあ、また隣はそんなのまでして、学校へ行きたいとは思わないんだよ」

こんなに二つの問題で真剣に親子が話したことは、はじめてであり、この会話を通じて我が子の成長に今更利吉さんは驚いた。二人の話を聞いていた次男の浩二が突然「父ちやん」と呼んで「あのな、怒つたいかんぱい、ほんとはなあ

セビロとオーバー
御注文同様お身体にピツタリお合せ致します
ヤクオーイン
鍛町　TEL2130 2331

景品券付年末大賣出し
チケットでお正月用品が何でも自由に買えます!
應接台　重箱　吸物椀　神棚　三寶　モチ箱　和洋百貨家具
◇新型石油コンロ大量入荷◇
三川鉱、電化、日發指定店
高千穂家具店
本店　大牟田市三川町一丁目　電6105番
出張販賣所　大牟田市小浜町電化北賣店入口

三鑛勞組三川、四ツ山支部指定店
背廣・オーバ・婦人オーバ
靴・カバン・スーツ・其他
皆様の
二神百貨店
本店(事務所)…大牟田市泉町　TEL3706
営業所　大牟田市栄町西鉄駅前　TEL4887
出張所　荒尾市四ツ山県廻新世界隣
支店　熊本、八代、佐賀

婦人紳士革靴　各種布靴
お正月の晴着を一層ひきたてる
三池炭鑛勞働組合指定店
三川・三池専門店会の店
チケット大歓迎
強くて安い靴は
三川屋靴店(上野商店)へ
三川町金映横　TEL6272

## お知らせ

「みいけ」は正月休業の関係から年末年始の発行を次のように変更します。

十二月廿七日　休刊
一月一日　臨時発刊
一月三日　休刊